

## プレゼンテーションのルーブリックス

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
構成・内容	構成が論理的で、かつ聞き手の興味をひきつける順序で提示されており、聴衆は内容を容易にとどり、理解することができる。	材料をまとめあげたプレゼンテーションであるが、構成や聴衆への配慮面で改善の余地がある。	材料を一通り集めているが、個々の材料への理解が十分ではなく、また構成面では工夫の余地が大きい。	材料を一通り集めただけのレベルにとどまっている。
技法	明瞭で、正確、かつ的確な話し方をしており、声量も大きく、楽に聞き取ることができる。また、話す速度も適切である。聴衆の方を意識し、目を少なくとも時々合わせている	明瞭な話し方をしており、声も小さくないが、ときたま不明瞭な部分がある。	話し方が不明瞭である。主要な語句の読み方が間違っていたりするが、だいたい理解できる。声量が小さいか、あるいは、早口過ぎて、特に、日本語を学んでいる外国人にとっては聞き取りにくいと思われる。	話し方が不明瞭であり、声量が小さいか早口すぎて、理解することが難しい。
図表の利用	発表内容を理解するために有用な図表を活用しており、効果的である。	発表内容と関連した図表を利用している。	図表を利用しているが発表内容との関連が薄い。	図表を全く利用していないか、あるいは、図表を過剰に利用している。
テーマ選択	テーマを選んだ理由・背景が明確であり、かつ、説得力がある。加えて、アイディア性もち、聴衆に対してもインパクトを持つと考えられる。	テーマを選んだ理由・背景が明確であり、アイディア性ももつ。しかし、聴衆に対するインパクトは今ひとつである。	テーマを選んだ理由・背景についての説明が十分でなく、テーマに魅力が感じられない。	テーマを選んだ理由・背景についてあまり触れていないだけでなく、テーマそのものが不明確である。

(外部資料も参考に、第2回「新・文明の旅」プログラム特講bで実際に利用したもの)